

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債、資本の状況

（単位：億円）

	2015年度末 (2016年3月31日)	2016年度 第3四半期末 (2016年12月31日)	前年度末比
資産合計	32,263	31,613	△649
負債合計	23,000	22,151	△849
資本合計	9,262	9,462	199
親会社所有者帰属持分(自己資本)	7,827	8,095	268

〔ご参考〕

現金及び現金同等物	3,808	3,809	1
有利子負債	5,349	6,128	779
ネット有利子負債	1,541	2,319	778
D/Eレシオ	0.68倍	0.76倍	0.08倍
ネットD/Eレシオ	0.20倍	0.29倍	0.09倍
親会社所有者帰属持分比率(自己資本比率)	24.3%	25.6%	1.3%

当第3四半期末の資産合計は3兆1,613億円と、前年度末から649億円減少しました。棚卸資産は今後の売上に対応するため、サービスビジネスを中心に増加しましたが、売上債権は前年度末に集中した売上に係る売掛金を回収したことにより減少しました。

負債合計は2兆2,151億円と、前年度末から849億円減少しました。前年度末に集中した売上に対応する支払いにより仕入債務が減少したほか、確定給付債務の積立状況改善により退職給付に係る負債が減少しました。

有利子負債は6,128億円と、運転資金の一部を短期借入金で調達したことなどにより779億円増加しました。

資本合計は9,462億円と、前年度末から199億円増加しました。配当金の支払いによる減少影響はありましたが四半期利益の計上や主に国内において確定給付制度の積立状況が改善したことによりです。

なお、親会社所有者帰属持分比率（自己資本比率）は25.6%と前年度末から1.3ポイント増加しました。

## ②キャッシュ・フローの状況

（単位：億円）

	2015年度 第3四半期累計	2016年度 第3四半期累計	前年同期比
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	330	942	611
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,166	△1,309	△143
I+II フリー・キャッシュ・フロー	△836	△367	468
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	849	389	△460
IV 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,644	3,809	164

当第3四半期（累計）の営業活動によるキャッシュ・フローは942億円のプラスと、前年同期からは611億円の収入増となりました。税引前四半期利益が増益となったほか運転資本が改善しました。

投資活動によるキャッシュ・フローはデータセンター設備などへの投資により1,309億円のマイナスとなりました。前年同期からは143億円の支出増となりました。

営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは367億円のマイナスと、前年同期からは468億円の収入増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、389億のプラスとなりました。運転資金の一部を短期借入金で調達しました。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は3,809億円と、前年度末並みとなりました。